

第 20 回介護福祉士 筆記試験
「社会福祉援助技術(演習を含む)」
解答(やまだ塾解答速報の訂正版)・解説(簡易版)

2008 年 3 月 7 日 掲載

解説(簡易版)の掲載に当たり、解答速報を見直したが全科目において訂正はなかった。

なお、国家試験として疑義のある問題については、4 月以降に掲載する解説(詳細版)の段階において、昨年度同様に「脇の甘い問題」として掲載する予定である。

「社会福祉援助技術(演習を含む)」の訂正箇所

・訂正なし

番号	設問	解答速報 (1/28.12:20)	やまだ塾の 解答(解答速報の訂正版)と解説(簡易版)
27	社会福祉援助技術の基本	4	やまだ塾の解答:4 A×「利用者と一緒に問題に対処していく」 B× C○ D×「“個別化の原則”に基づき、利用者の個性を理解して、それに応じた援助をする」
28	面接における援助者の行動	4	やまだ塾の解答:4 1×「腕組みしながら“別に”と言う人がいるが印象がよくない」 2×「視線を合わせること(アイコンタクト)が大切である」 3×「相づちをうつ」 4○ 5×「被援助者に共感し、被援助者の価値基準に沿っていくことが大切である」
29	集団援助技術の基本的知識	3	やまだ塾の解答:3 1○ 2○ 3×「援助者の役割は多様(仲介者、媒介者、代弁者、助言者など)である」 4○ 5○

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2008 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

30	社会福祉援助技術の用語	2	<p>やまだ塾の解答:2</p> <p>1○</p> <p>2×「パートナーシップに基づく信頼関係を“ラポール”という」</p> <p>3○</p> <p>4○</p> <p>5○</p>
31	ケアマネジメントの過程	4	<p>やまだ塾の解答:4</p> <p>A×「“客観的な事実”に裏付けされた情報”である」</p> <p>B○</p> <p>C×「解説は不要でしょう(愚問)」</p> <p>D○</p>
32	障害受容の過程の段階	3	<p>やまだ塾の解答:3</p> <p>1×, 2×, 3○, 4×, 5×</p> <p>(解説)</p> <p>・5段階説:ショック期→否認期→混乱期(怒り・うらみと悲嘆・抑うつ)→解決への努力期→受容期</p> <p>・混乱期:自分の障害が治らないのは治療が間違っているからだ, リハビリを多くやってくれないからだ, そもそも発病の最初の時の治療が失敗したからこうなったのだ, などの感情をぶつける。</p>
33	病院から外泊中の訴えへの施設介護職員による対応	1	<p>やまだ塾の解答:1</p> <p>A○</p> <p>B○</p> <p>C×「“受容期”の対応である」</p> <p>D×「過去ではなく, 未来に目を向けるように誘導することが大切であると言われている」</p>
34	退院した後の施設介護職員による対応	1	<p>やまだ塾の解答:1</p> <p>A○</p> <p>B○</p> <p>C○</p> <p>D×「“解決への努力期”の対応である」</p>